三月十八日 夕刊

休日 日曜 祭日
一ヶ月 廿五錢 郵税十五錢 一部二錢
廣告料 一行四〇錢 場所指定 廿錢増
發行兼編輯印刷人 半谷政吉
發行所 福島縣平町大町 新いわき新聞社

常識講座

サインとは記號又は符號の事で記念寫眞帳その他に關係者が記帯することにも使はれてゐるサイズと云へば型の事で其の大きさ例へば帽子の裏にある直徑何吋何分の何等がそれだ

氣遣はれた本春蠶 悲觀する必要なし

生絲の相場も當分保合の模樣 昨年の樣な馬鹿安は來ぬ

春蠶の掃立期を控へて米國の財界恐慌に養蠶當業は非常な狼狽であつたが流石黄金王國の亞米利加だけに急遽對策を整へられて生糸市場の蠢があいた相場は標準價六百六十圓以上と稱する悲觀豫想を裏切る好況に生糸家を初め漸く愁眉を開かれてゐる此の市況の先行き豫想では米國の金融界が大体に於て安定したとは云ふもの丶應急處置であるだけに向後一進一退は免かれまいが現況保合で行くものではあるまいか異常な樂觀説ではインフレに煽られる米の景氣が購買力を誘ふ樣に云ふがそうなれば勢ひ爲替價が上るから結局に於て同一である兎に角大した上値が來なくとも現在の相場に急落を見ることはなからう假りに最惡の場合があるとしても昨年春の樣な馬鹿安はなさヽうである本年の春繭を三十五六圓から四十圓程度と見るのが安全であらう一般養蠶家は昨年の初秋から晩秋の暴騰に甘い夢を見ず同年春の暴落で舐めた苦しい味を忘れない基算の下に桑園の給肥を怠らず身を締めて飼育すれば絶對に失敗なく今年の春蠶も平年通りの掃立で差支なさそうである

長城戰の殊勳者

松野尾少佐は

松野尾辯護士（平町）の實兄 友人相計り感謝文を贈る

熱河討伐戰に於て服部部隊、米山部隊と共に武勳を輝やかし最近は長城關門喜峰口に於て殊勳を樹て十數名の戰死者を出した松野尾部隊長松尾野勝明少佐は平町才槌小路、辯護士松野尾繁雄氏の長兄であるが松野尾辯護士の友人である大森辯護士、藤田郷軍平町分會長、大森町議等が發起となり松野尾少佐に對し武運長久の守護札に感謝文を添へ慰問品を贈ることとなり目下取まとめ中であると

奇特な派遣兵

滿洲獨立守備看護兵派遣遼陽衛戍病院附、平町六丁目米穀商吉男弟郡司朔男君は貧困者のためにと十八日金四圓の爲替を平町役場へ送つて來た

共濟病院總會

石城共濟會では來月二日午前十時から平署會議室に臨時總會を開き昨年の騷動後の經過報告をなし今後の營業政策その他につき打合せを行ふ

第一校生徒見學

平第一校卒業生二百名は鈴木先生に引率され十八日午前十時から常磐銀行支店、片倉製糸工場、難波製紙工場、平郵便局を見學した

堆肥・二毛作成績 品評會受賞者決定

二十一日褒賞授與式

石城郡農會では七年度堆肥及二毛作品評會成績を審査中であつたが十七日左の如く入賞者を決定、廿一日午後一時から平町團体事務所で授賞式を擧行する

△大麥 一等荒井澄(錦) 二等木村武雄(大野) 同宇佐見彦太(草野) 同小宅勇(植田) 三等鈴木儀助(好間) 外十六名
△小麥 二等鈴木末吉(夏井) 同山野邊良助(錦) 三等石山藤助(大浦) 外四名
△菜種 一等鈴木英雄(夏井) 二等齋藤親世(好間) 三等大平洋(植田)外十名
△紫雲英 一等志賀龜與(神谷) 二等和田忠平(大浦) 同志賀忠五郎(神谷) 二等赤津長次郎(錦) 三等青天目酉次(勿來) 外二十名
△堆肥 一等赤津正次郎(勿來) 二等吉田榮次郎(大野) 同北郷一衛(磐崎) 同志賀龜與(神谷) 三等水野善作(植田) 外十六名
△米 一等鈴木貞義(夏井) 二等齋藤寅雄(四倉) 同荻野慶藤榮次郎(鹿島) 同佐次郎(小川) 三等根本軍平(赤井) 外二名 四等石井速水(勿來) 外五名

產業組合部會總會

役員滿期改選を執行

產業組合石城郡部會總會は十七日午前十時から平町團体事務所に開催、八年度豫算一千六百七十一圓を附議後、役員滿期改選の結果左の如く決定尙事務所は十八日から平驛前農業倉庫樓上に移轉することとなつた

部會長青沼錦太郎(平) 副部會長酒井専治(大浦) 理事太濤左エ門(江名) 長瀬金右エ門(小名濱) 小松清三(勿來) 鷲浦昇(植田) 吉田彌十郎(四倉) 芳賀辨之助(草野) 草野常彌(平窪) 山崎庫太郎(內郷)

優良組合員表彰

產業組合石城郡部會では十七日の總會に於て組合事務員五ケ年以上勤續成績優良者として左記二名を表彰した
志賀二郎(江名) 永井五郎(平庶民金庫)

△△△△△△△ 浪花節で趣旨宣傳

產業組合郡部會の 八年度組合擴充計畫

產業組合石城郡部會では八年度新事業として組合事務指導者のために四月上旬監事講習會を平町に開催する外既報の如く平驛前農業倉庫に縣購販聯の出張所を設置し肥料雜貨類の販賣購買を行つて組合員の便利を圖ることとなり又、產業組合思想普及のため今月下旬長野縣小縣郡部會囑託瀧澤睦三郎氏を招聘し勿來、江名、小名濱、植田、四倉、等の各地で產業組合浪花節を公演する計畫である

訓盲院卒業式

磐城訓盲院卒業式は二十二日午前十時から擧行

美はしい師弟の情

仲村校長を繞る

內郷第三小學校長仲村辰四郎氏の高等官七等待遇並に結婚二十五年を祝ふため同校職員及び前任地の好間校、桑折校藤田校等の舊部下職員及び白河、三春、須賀川の各校にて同氏の薰育を受けた教へ子百余名は此程記念として同氏にモーニング、同夫人に紋服各一着を贈つて心からなる祝意を表したと

小名濱の火事

全半燒二戸を出す

十八日午前一時頃小名濱町古港二一料理店大津キワ方から發火、同家及び隣家水野政治郎方を半燒して三時三十五分鎭火した、原因その他平署で取調べ中

石城產看學校 卅三回卒業生

平町石城產婆看護婦校では來る二十日午後一時第三十三回卒業式を擧行するが卒業生氏名左の如し(イロハ順)

△看護科 五十四名 伊藤キミ子 伊藤モト 猪狩タツ 猪狩恭子 濱崎ハマエ 篠澤瀧子 羽下キヨエ 新妻ヌイ 小野田瀧 金成文子 上遠野雪子 菅野ヨシ子 金成ミツ 吉田アイ子 高本豐子 竹内スエ 中野信子 永山キヨ 村田セイ 遠藤喜子 遠藤フク 草野テル子 山川はつ 山口八千代 山邊民子 山田キミ 小松輝代 天野ちよじ 青柳カチエ 青木ハル 赤津シマ 赤津順子 安齋千代子 佐久間ハツイ 作山絹枝 佐藤秀子 佐藤シヅエ 佐藤ミス子 佐川フミエ 木村スサ子 峰口彪女 庄司秀子 篠崎喜代 物江ハツイ 鈴木アサヨ 鈴木一枝 鈴木ミヨ 鈴木チエ 鈴木ナツ 鈴木トメヲ 馬目美津惠 岩淺綾 小池朝與 佐藤愛子

△產婆科 四十四名 伊藤キミ子 伊藤モト 猪狩タツ 篠澤瀧子 新妻ヌイ 大谷欣子 小野田瀧 金成文子 上遠野雪子 菅野ヨシ子 金成ミツ 吉田コウ 吉田アイ子 高本豐子 竹内スエ 中野信子 遠藤喜子 遠藤フク 草野テル 山川はつ 山口八千代 山田キミ 駒木根壽子 小松輝代 青柳カチエ 青木ハル 赤津シマ 赤津順子 安齋千代子 佐久間ハツイ 作山絹枝 佐藤秀子 佐藤シヅエ 佐藤ミス子 佐川フミエ 木村スサ子 峰口彪女 庄司秀子 篠崎喜代 物江ハツイ 鈴木アサヨ 鈴木ナツ 鈴木チエ 鈴木トメヲ

平產看學校廿六回卒業生

平產婆看護婦學校第二十六回卒業式は二十日午後二時から擧行するが卒業生氏名左の如し(イロハ順)

△看護科 四十名 石井ミネ 猪狩イワ 新妻貞子 飛田フヂヨ 藥谷トキ 加藤木ミツイ 輕部はる 高木萩野 高木タミ 武田チルエ 丹野テル 鵜沼ミキチ 根本トミコ 魚住チエ 大峯スキ 大木ウメ子 栗崎ミヨ 小野キヨ 松本イセ 松崎キヨ 松田吉代 飯塚テツ 佐藤マサ 佐久間キサ 寒河江キエ 坂本キミ 木村竹子 北野タケ 綠川鈴江 澁谷キミノ 志田フミノ 平崎艷子 鈴木サダ 鈴木米子 鈴木ツユ子 鈴木わくり 鈴木ハルヨ 鈴木政子 袴木節子

△產婆科 三十一名 石井ミネ 飛田フチヨ 道内千代女 藥谷トキ 加藤木ミツイ 丹野テル 鵜沼ミサヲ 魚住チエ 大峯スキ 小野キヨ 松本イセ 松田吉代 後藤ミネ 飯塚テツ 佐藤セイ 佐藤マサ 佐藤ウメノ 寒河江キエ 北野タケ 綠川鈴江 澁谷キミノ 志田フミノ 蛭田津義 平崎艷子 木瀧トミ 鈴木サタ 鈴木米子 鈴木とり 鈴木節子 鈴木キヨ 鈴木ハルヨ

酒屋から盜む

山形縣生れ當時住所不定窃盜前科一犯長沼富治(三五)は去る三日磐崎村馬玉某酒店からオ1バー一着價格三十五圓を窃取した外各所で十數件の胡鼠泥を働き十七日平署に檢擧

平町の町議改選期は來る五月卅日で定員卅名に對しどんな人々が出るだらう

噂の顏振

(1) 井上茂作君

我が平町に於て最も多方面的な人材である、曾ては實業を以て一生を托さうとの肚計もあつたらしいが消防組頭や町議や縣議等々出づるところ悉く成功と云はれる幸運兒だ本來の家業である材木商や之れと姉妹關係をもたせる磐城建物會社の創立その他初期の志を息貞次郎君に讓つて今や押もおされもせぬ地方政治家としての生命に沒頭してゐる所以のものは蓋し上記のトントン拍子がそうなさしめた結果であらう、君に對する町民からの認識は消防組頭の井上縣會議員の井上、更に平町會初代議長の井上さんが一般的で鎌田遊廓設置に緣故深いことや平屠畜會社の功勞者であることや片倉製糸の重役であることなどは余り知られて居らず遠慮なく云へば好男子の城には若干距離のある君の咽喉が素人を超えた稀々逸の名人であることなども知る人が少なからう、而して君の今日をなす型から云へば努めて大衆に接近し努めて大衆と語り自己を社會に知らしめ樣とする上に多角形の機才があり且つ十人並以上の雄辯があることで所謂放て漫りに已れを他に知らしめずともと云つたものとは正反對である、今年六十七の春を迎へて早々來る町議戰に打つて出づれば三期の議席を繼續の上から年の上からの最後戰だらう

産業方面

副業養鷄の常識（三）

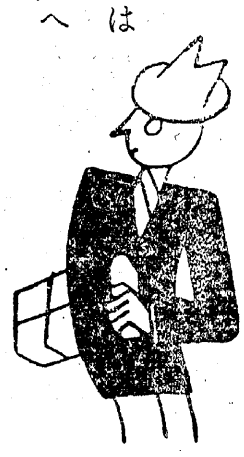
東農大出身　鈴木技師

又育雛箱の高さは一尺を普通とするのである而して寢室の後方外側に温源器を密接に据付ける本器で育雛する場合には二百羽位までは一つのもので差支ない

此の器の特點とするところは温氣室の暖い空氣が温氣孔の上部より寢室に這入つて之れを温め然る後に冷たくなつた空氣は温氣孔の下方のものを通じて再び温氣室に入り直ちに温められるから僅かの石油でも寢室内の温度を充分に上昇させることが出來ること育雛箱の外部に温源器を据付け而かも油煙を礦實に一方に導くことが出來るから寢室内には假初めにも油煙の侵入することがないし又非常に廉價に得られることである、尚ほ佐藤氏は獨特の上面温湯給温器を考案しこれまた成績頗るよく本器と同樣素人も容易に操縱することが出來るから氏を訪ねて實際に規察されることが一層効果的である

、ヨ下面給温育雛器

構造　本器は長さ五尺巾三尺高さ一尺の木製箱で雛の寢室には長さ二尺巾三尺の中板を初生雛では底より五寸の高さにはめ餌の成長するに隨つて一週間に一寸宛上方に上げることの出來るやうに裝置し中板の前線には布切れをはりつけ其の前方約六寸のところに隔板をはめることの出きる樣に裝置し隔板は前者と同樣上面より一寸位低くして夜間はゝめて蓋はゝづして運動場を廣くするのであるして寢而室の上面は蝶番付の蓋をして開閉を自在にし其の他の部分は金網と障子を半分位宛覆つて置く又寢室の下の土間は堀下げて火鉢を入れることの出來る樣にするのである



慢自の品良優も豚も牛

町町　平田　屋三二三　御の肉は命用

難波醫院
……内科一般……
醫學博士　難波睦
平町大町新川端
電話五〇一番

お醤油は……ヤマフル
醤油味噌
たひら正宗
鰹節食料品
合
鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町
電話　營業部一〇番　本店二七番
明治生命　磐城代理店　山崎與三郎

生徒募集
光キある歴し
堅實なる學風
磐城佑賢學舍
中等科『中學程度』
女子部『高女程度』
入學願書　四月四日まで
平町城山
〔電話九三番〕

洋服の御用命は高島屋へ
模範裁縫
高島屋洋服店
平町驛前　電三八六番
新柄着荷
!!!　!!!

産婆・看護婦生徒募集
今！入學の好時期
御希望ノ方ハ至急御申込ミヲ
新學期ハ　四月四日ヨリ
平南町
平産婆看護婦學校
校長　清野キヨ
電話　三〇七番

内科　小兒科
入院需應
大森醫院
醫學士　大森勇
平町南町
【電二五八番】

債券　公債　両替　金融
多田井質店
平町大工町
電話五九一番

外科
内臓外科　整形外科　外科一般
醫學士　内木宗八
産科　婦人科　院長　木村寅次郎
平町新川町九
電話一六四番
木村病院

磐城
共濟病院案内
院長　醫學博士　石山謙郎
自宅　電話一二四番
内科　醫學博士　石山謙郎
小兒科　醫局員　佐久間粹
外科耳鼻咽喉科皮黴科　醫學博士　桂重次
醫學士　有馬勇二郎
産婦人科　醫學士　五十嵐雄二
醫局員　佐久間粹
X光線科　醫學博士　石山謙郎
技師　工藤慶造
衛生試驗所　醫學博士　石山謙郎
技師　高後利雄
藥局　藥劑士　吉本幸平
診療時刻午前八時より午後六時迄
但急患はこの限りに非ず
平町　磐城共濟會
電話六四一番

産婆看護婦生徒募集
願書提出四月八日迄　可成至急
修業年限　産婆　看護婦を通じて
一ケ年
平町一丁目
石城産科婦看護婦學校
校長　鷹崎千代
電話三五七番

雨露に晒す程　強くある煙突
煙突は『朝日』
石綿セメント製
朝日煙突
絶對にはぜない！やけない！くさらない！
経済的で失災の心配がない
釜屋商店

カクニ石ケン
生命と信用を賭して精選せる純良の……質と……量
最後の一片が消え去る迄優雅な香が續く……
お化粧用　一ケ　十錢　壹打　壹圓二十錢
お洗濯用　一ケ　十錢　壹打　壹圓
やるつ
平町4　電140